



読書をもっと  
広げよう

工藤 ミサさん  
(菓子)

私は、移動図書館車「かっこう号」の図書の貸出し業務に携わっており、小学校や幼稚園を回ると、たくさん子ども達が利用してくれるので訪問が楽しみです。

読みたい本を決めて選んだり、リクエストをくれたり、とても積極的に利用してくれます。

本を読むと自分に出来ない、いろんな世界が広がるので読書する人が増えることを期待します。



## 教育・生涯学習の推進

主な事業 (千円以下切り捨て)

- 学力向上・指導力向上事業 .....382万円  
・本村の課題となっている児童生徒の学力向上のため、標準学力調査等により児童生徒の学力・学習状況を把握して、学力向上に関する取り組みを推進するとともに、教員の指導力向上に努めました。
- 放課後マイスタディ支援事業 .....236万円  
・児童生徒の家庭学習の習慣化を図るために、各学校に学習支援員を配置し、放課後の時間を活用し、自主的に学習ができる環境を整えました。
- 不登校児童生徒解消対策事業 .....153万円  
・学校適応指導員を任用し、学校、家庭、関係機関と連携を図りながら、不登校等の問題を抱える児童生徒に対する相談や支援を行いました。
- 特別支援教育支援員設置事業 ..... 1,434万円  
・小学校及び中学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒に対して「特別支援教育支援員」を配置し、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行いました。
- 学校給食事業 ..... 3億4,040万円  
・食への関心や食べることへの意欲を持たせることなどを目的として児童生徒が考えた「希望献立」や健康な生活を送る基礎を培うための学校給食と正しい食習慣の理解を目的とした「食に関する指導」の実施を進めた結果、安全で魅力ある学校給食の提供と食育の推進が図られました。
- 滝沢村教育振興運動推進協議会交付金事業 ..... 67万円  
・小学校実践区では、学校、家庭、地域での読書活動に対する理解と協力、意識の高まりが見られるようになりました。中学校実践区では、地域事業へ積極的に参加する小実践区が増え地域との関わりが徐々に推進されました。また、食育の推進も各分野で取り組まれました。
- 放課後子ども教室推進補助事業 ..... 82万円  
・放課後や土曜日等における子ども達の体験活動の充実を図ることができたことと、地域住民の協力により、住民協働の放課後児童対策を推進することができました。(たきざわっ子いきいきクラブ・チャグホ塾の2ヶ所開設)
- 移動図書館運行事業 .....256万円  
・図書館から遠い利用者の利用促進を図り、学習支援活動や、学習機会・学習活動の場の提供を行い、生涯学習の推進を図りました。
- 競技スポーツ推進事業 ..... 3,574万円  
・村のスポーツ振興の中心的な担い手である滝沢村体育協会に補助金を交付することにより、スポーツ・レクリエーション活動の推進並びに競技スポーツの充実強化が図られました。

# 決算審査特別委員会 238億円を採る

9月13日から15日までの3日間、決算審査特別委員会(委員長 斉藤 健二)が開催され、付託された21年度各会計決算を審査し、17日本会議で委員会報告のとおり全会計238億円の決算を認定しました。

## 産業・観光の振興

主な事業 (千円以下切り捨て)

- 地域職業相談室管理運営事業 .....563万円  
・雇用相談員による労働問題に関する相談や求人求職紹介業務補助を行い、雇用の創出及び求職者へのサービスの向上が図られました。
- 滝沢村シルバー人材センター補助事業 .....770万円  
・自主・自立、共働・共助を理念としてシルバー人材センターが運営され、会員数、受託件数とも年々増加し、契約額も前年度と比較して15.7%増加している事など運営は順調であり、高齢者の生きがい対策として多大なる成果をあげました。
- 企業誘致事業 .....238万円  
・村内における雇用の場の確保及び産業振興を図るために、食品製造業企業を誘致しました。前年度立地を決めた企業の年度内操業に係り、事業経営基盤安定のため優遇制度等による支援を行いました。
- 滝沢村IPUイノベーションセンター管理運営事業 .....768万円  
・イノベーションセンター(貸し研究室)に6社10室に入居したことにより、新規雇用者が生まれたなど概ね成果は達成されました。
- 岩手県立大学周辺産業集積整備事業 ..... 1,130万円  
・県立大学周辺に業務用地の整備と戸建て貸し研究室の整備を行い、県立大学の潜在的な力を生かし、地域産業の振興、雇用の拡大及び優れた人材の流出防止を目的として、IT産業等の集積を図るため、21年度に造成実施設計を実施しました。
- チャグチャグ馬コ馬資源確保事業 .....134万円  
・村内の農用馬飼育頭数の減少傾向に歯止めをかけ、チャグチャグ馬コの里滝沢村を維持していく為に「校伯」の飼養を行い、頭数を増やすための施策を行いました。
- いわて希望農業担い手応援補助事業 .....389万円  
・ミニトマトの系統出荷強化のため、雨よけ施設のパイプハウスを計画的に導入しました。
- 担い手育成経営基盤強化支援事業 .....193万円  
・経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営者を育成し、農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立することを目的として、相談対応等を行いました。
- 担い手支援育成補助事業 ..... 1,197万円  
・水田経営所得安定対策が19年度から始まり、小麦・大豆・米が対象品目で、対象者は認定農業者及び集落営農組織なことから、転作田における小麦・大豆の作付者に助成することにより、作付誘導と所得向上を支援しました。
- 相の沢牧野管理 ..... 4,023万円  
・前年度よりも放牧頭数が減少したものの、村内の利用農家はここ数年毎年増加しており、放牧による一定の成果が現れていると考えられます。



滝沢村  
全国で人口村一番

佐藤 彦一さん  
(元村西)

滝沢村は住みよい村で緑がいっぱい、自然と大学と自衛隊があります。人口の多い村を全国に発信したいと思っています。

滝沢には特産品がいっぱいあり、これを全国に広めたいですね



### 21年度一般会計決算

#### 反対討論

桜井 博義議員

定額給付金など審査の中でも国全体の効果はあったかもしれないが、村内に関しては効果が見られないというものでした。また、指定管理の運営面に対して問題点も生じ、審査の中でも改善意識が希薄に感じられ、方向性も示されません。

決算総額は大幅に伸びましたが、日々の生活が厳しくなる中で、生活向上につながるような予算執行がなされたとは到底判断できません。よって、認定に反対します。

#### 賛成討論

山谷 仁議員

世界的経済不況の中、我が国においては政権交代による政策変更など、財政環境が大きく変革する中においても各種投資的事業に取り組んでおります。村民の願いを実現す